

参議院選挙を前にして

維新政党新風代表 鈴木信行

皇紀2676年5月号(235号)
(平成28年) 毎月1日発行

新風

編集・発行人 鈴木信行人

年間購読料 2,000円

維新政党新風本部
東京都中央区日本橋蛸殻町1-6-4
第三カネタツビル103
TEL 03-5642-0008
FAX 03-5642-0009
http://shimpu.jpn.org/
otayori@shimpu.jpn.org



時の流れは早いもので、平成二十三年一月の党代表就任から五年あまりが経過した。

ウル入りし、日本大使館前に違法設置してある慰安婦像に「竹島の碑」を縛り付けて抗議の意を示した。この行動はインターネットで世界中に生中継され、激昂した韓国政府は私を入国禁止処分にした。韓国国内では私に対する抗議デモが起り、日韓軍事情報協定も調印式当日に破綻となった。

維新政党新風は、全国の有権者に党の主張を訴えるため、全国比例区を中心とした選挙を行ってきた。地方区にも候補者を立てるが、あくまで全国からの得票を通じて議席および政党要件の獲得を目指してきた。しかしながら、堅固な地方組織なしに全国比例区選挙を展開することは困難である。具体的には、最も有権者数の多い東京都選挙区で供託金を取り返す

急進的とも言える姿勢が明らかになった。更に特命委員は「入国時に在留期間の制限がない者」を「移民」と定義する方向であるともされるが、外国人労働者の在留期限を定めたとしても「数年」の許可や、簡易な更新を可能とすれば実質的な移民となるのは明白であり、抜け道を先に用

意した脱法的な政策であると言わざるを得ない。現在、政府に少子化問題など政策提言をする者の中には、支那人などの留学生や労働者も三、四年日本で暮らせば「日本人になる」から、積極的に受け入れて彼らに子供をつくらせれば良いという呆れた主張を述べる者もあり、今回の特命委員言にも結果的に影響を与えて行くおそれが高い。日本を壊す外国人受入れ政策を許してはならない。(編集部)

の成果は全国に大きな影響を与える。党員の皆さんにおかれては、出来る限りの御支援を賜りたく切に御願する次第である。

本年で党代表に就任して六年目を迎へ、十二月には三年二期目の任期が終わる。次回三年後の参議院選挙においては比例代表候補を当選圏に押し上げる体制が出来よう、これからも頑張っていく。

日本の文化・伝統・歴史に基づく確固たる世界観に基づく思想政党・民族派政党の台頭こそ、唯一の救国策である。その信念を持って、維新政党・新風は不転の決意で参議院選挙に臨む覚悟である。

政府、脱法移民受入拡大か

自民特命委、提言受け

自民党の労働力確保に関する特命委員会(委員長・木村義雄参院議員)が政府に提出する予定の提言案の概要が報道された。それによると、「単純労働者」の受け入れを「必要に応じて認めるべき」とし、そもそも「単純労働者」という「概念自体をなくす」とするなど、実質的な移民受け入れに

比例代表候補の当選など覚束ない。とは云え、平成二十二年の参議院選挙出馬断念の影響もあり、残念ながら地方組織の弱体化が進んでいた。そこで、鈴木体制下では、全国比例区への候補擁立を否定はしないが地方区を重視する方針に転換し、地方議員選挙にも進んで挑戦していく。

四月二十八日、韓国のソウル中央地検外事部は我が党の鈴木信行代表が、自称「元従軍慰安婦」が暮らす「ナムの家」と「戦争と女性の人權博物館」(慰安婦博物館)に「ミニ売春婦像」を送りつけた行為が名誉毀損容疑に該当するとして在宅起訴し、日本の東京地方裁判所を通じて鈴木代表宅へ被告人召喚状を送りつけて来た。

人形を送りつけるのが名誉棄損ならば、日本大使館前に売春婦像を建てるとは何罪になるのだろうか。韓国は我が党との一連の騒動で、被告人不在のまま刑事裁判をはじめたり、日本国内での事案を起訴したりと法治国家にあるまじき行為を繰り返してきた。

公判期日は六月十日、二十四日とされていたが、鈴木代表は「参院選もあるし、誰が火病韓国の地方裁判所程度の出頭命令に従うのか?バカじゃないの」とコメントした。(編集部)

●東京都の名簿募集

第二十四回参議院選挙にあたり、東京都にお住まいの知人を御紹介ください。また東京都在住の方の名簿をお持ちの方は、原本が写しを党本部までお送りください。名簿は選挙ハガキの送付などに使わせていただきます。ご協力宜しくお願いします。

●党費納入のお願い

- 終身党員 十万円(一括納入)
 - 党員費 年額二万円
 - 学生党員費 三千元
 - 党友費 五千元
 - 後援会費 二千元(一口)
 - 賛助会費 三万円(一口)
- 「新風」購読料は党費に含まれています。
「郵便振替口座」
〇一〇六〇一七一四八四三
「銀行口座」
みずほ銀行麹町支店
(普)一一三六六九三

熊本地震お見舞い

今回の平成二十八年熊本地震でお亡くなりになられた方々に対し哀悼の意を表するとともに、被災された皆様とそのご家族、関係者の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

維新政党新風